

リスクと保険Ⅱ

科目ナンバリング CME-204
選択必修 2単位

三町 俊哉

1. 授業の概要(ねらい)

現在、企業活動においてリスクと保険の問題がクローズアップされています。自然災害やテロの多発、システム障害の頻発などにより、企業のリスクマネジメントに対する関心は、あらゆる業種で急速に高まっています。このことを踏まえて、本講座では、リスクやリスクマネジメントから保険制度・保険経営に至る全体像を体系的・段階的に習得することを目的としています。授業では教科書に沿って基礎理論を中心に学んでいきますが、実務の世界でどのように対応しているのかも織り交ぜ、みなさんの理解を深めていきます。「リスクと保険Ⅱ」では、保険契約者側からみた保険について考察した後、保険ビジネスとしての保険商品の開発・販売から保険金支払いまでの一連の流れを勉強します。さらに、保険企業の形態・財務・企業価値・監督システムを概観し、商品・販売制度の規制緩和の流れを学習します。授業は原則として講義形式で行います

2. 授業の到達目標

- ・リスクと保険の基礎知識、専門用語を習得することができる。
- ・リスク対応についての考え方を理解することで、企業の行動基準の一つを会得することができる。
- ・保険の仕組みを知ること、企業経営と社会の成り立ちの基本的な理解を深めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・小テスト 20～30%
- ・学期末テスト 80～70%

4. 教科書・参考文献

教科書

下和田 功 [編] はじめて学ぶリスクと保険[第4版] 有斐閣ブックス
特になし

参考文献

米山高生 リスクと保険の基礎理論 同文館出版

山下友信・竹濱修・洲崎博史・山本哲生 保険法[第4版] 有斐閣アルマ

栗山泰史 保険募集制度の歴史的転換 保険教育システム研究所

適宜紹介する

5. 準備学修の内容

- ・当日の講義では、簡単なレジュメを配布しますので、講義内容の重要点を補記するなどし、復習に活用してください。
- ・講義に使う資料は、事前にLMSにアップする予定です。毎回、必ず事前に確認(予習)してください。
- ・教科書は毎回持参のうえ授業に臨んでください。
- ・必要に応じて、講義中に次回授業のポイントをお伝えしますので、次回の授業準備の一助としてください。
- ・原則として、授業終了時に質問のための時間を設けます。

6. その他履修上の注意事項

- ・欠席及び公欠の扱いについては、原則大学の規定にフォローします。
- ・他の受講生の迷惑とならないように、最低限の授業におけるマナーは守ってください。
- ・基礎編であるリスクと保険Ⅰの後半がリスクと保険Ⅱに繋がっているため、続けて履修することが望ましいです。
- ・第14回授業は、LMSでの実施となります。*第14回授業内容は期末テストの範囲外ですが、重要な項目ですので必ず学習してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方・教科書の使い方・成績評価の方法および基準・出題範囲
春期授業の復習
- 【第2回】 保険可能なリスクの分類と保険商品
- 【第3回】 地震保険・自賠責保険の概要
- 【第4回】 企業のリスクと保険
- 【第5回】 保険者の企業形態 保険業法の規定から
- 【第6回】 新商品開発と保険の販売
- 【第7回】 アンダーライティングと契約保全
- 【第8回】 保険の財務(1) 保険料と責任準備金
- 【第9回】 保険の財務(2) 資産運用・保険会計・再保険
- 【第10回】 講義内容の中間総括 小テスト
- 【第11回】 保険会社の企業価値
- 【第12回】 損害調査と保険金支払い
- 【第13回】 保険産業と監督システム
- 【第14回】 新しい保険募集ルールにみる消費者保護(LMSで実施)
- 【第15回】 講義内容の総まとめ 学期末テスト